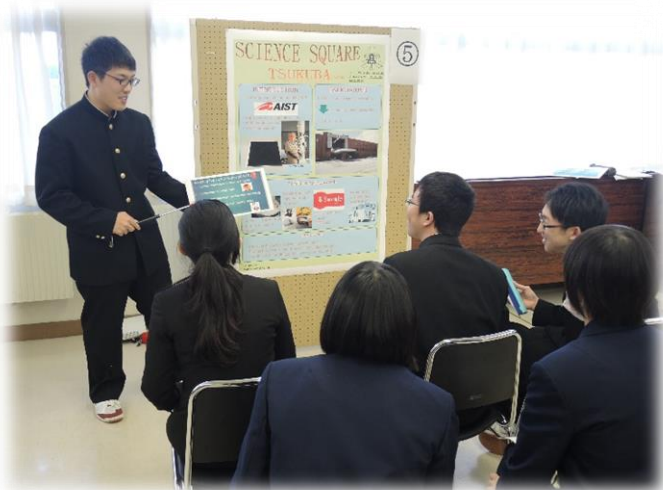


2年理数科が英語ポスター発表会を実施 筑波研修の成果を英語で発表

12月5日(火)水沢高校の大会議室で、2年生理数科が英語ポスター発表会を実施しました。英語ポスター発表会は平成25年度から実施しており、今年で5回目です。これまでは2年生理数科の生徒が行った企業研修の事後学習として、研修内容を英語ポスターにまとめて発表していました。本年度から企業研修の実施をなくしたため、10月の筑波研修で見学した6つの研究機関や施設の概要やそこで学んだことを英語のポスターにまとめて、英語で発表し、英語でディスカッションしました。また英語ポスター発表会には岩手大学教育学部のジェームズ・ホール教授や外国人留学生等の4名の学生が指導助言者として参加しました。また、筑波研修では、岩手県に誘致が進められているILC(国際リニアコライダー)に関係の深く、素粒子について研究している施設である高エネルギー加速器研究機構(KEK)を訪問していることから、岩手県政策地域部科学ILC推進室の舘野さん、奥州市総務企画部ILC推進室の渡邊さんとトマス・アンナさんら3名の地方自治体関係者も参加しました。



クイズなど Show & Tell を活用し
より楽しめる発表になるよう工夫しました



岩手大学教育学部 ジェームズ・ホール教授や
外国人留学生等に指導助言をしてもらいました

岩手大学のジェームズ・ホール教授からは、「姿勢・はっきりと聴衆に届く声・理解しやすい英語表現、この三つが整えば自信に満ちたポスター発表ができる。そのためには何度も何度も練習する必要がある。"Practice makes perfect"という言葉があるようにプレゼンに沢山取り組んでほしい。そして、質疑応答に関して。もっと質問される内容を予測すべき。クイックレスポンスは難しいが、準備でかなり対応できる。課題研究英語発表会で成長した姿を見るのが楽しみです。」と講評を頂きました。

2年生理数科の生徒は、平成30年1月20日に今年度取り組んできた課題研究の成果を口頭発表します。そして平成30年5月に課題研究の成果を英語で発表します。今回の経験が課題研究英語発表会につながると期待します。